

リスクの変化とセキュリティマネジメント

組織を取り巻くITセキュリティリスクは、刻々と変化しています。クラウドセキュリティ、サイバー脅威状況、そしてDXが進み変わりゆくビジネス環境における内部不正といったリスク環境の変化に十分に対応できず、課題を抱えている組織も多くあり、情報セキュリティマネージャーの重要性も高まっています。

今回も、こうしたリスク変化の大きい分野において最前線で活躍されている有識者をお招きし、知識の獲得、スキルアップを目的に、ISACA東京支部がカンファレンスをオンラインで開催いたします。組織のサイバーセキュリティ戦略やリスクマネジメントなど、情報セキュリティマネジメントに従事される方や、ご興味をお持ちの方のご参加を心よりお待ちしております。

日時

2024年2月17日(土)13:30-17:15

開催形態

オンラインライブ開催(Zoom Webinar)
後日、お申込者向けにオンデマンド動画視聴を提供予定

CPE

205分のCPEに相当します。
(ISACA継続教育 4CPE相当)

参加申込

<https://bit.ly/cismconf12>

参加費用

ISACA東京支部会員 1,500円
後援団体・他ISACA支部会員 2,000円
一般 2,500円

お申し込み期限

2024年2月16日(金)17:00

主催: ISACA東京支部

後援: ISC2 Japan Chapter、特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)、

一般社団法人 日本コンピュータセキュリティインシデント対応チーム協議会(NCA)、特定非営利活動法人 日本セキュリティ監査協会 (JASA)

※本カンファレンスはサイバーセキュリティ月間関連イベントです: [内閣サイバーセキュリティセンター\(NISC\) 2024年サイバーセキュリティ月間](#)

13:30-13:35	開会	開会/ISACA東京支部 よりご挨拶	ISACA東京支部 会長 喜多 理
13:35-14:35	セッション1	クラウドセキュリティの基本: ベストプラクティスとポイント	日本クラウドセキュリティアライアンス 諸角昌宏 氏
		質疑応答(10分)	
14:35-14:40		休憩(5分)	
14:40-15:40	セッション2	今知っておくべきサイバーセキュリティの脅威実態 ～ランサムウェアとランサムウェア以外の話～	株式会社マクニカ セキュリティ研究センター 瀬治山 豊 氏
		質疑応答(10分)	
15:40-15:50		休憩(10分)	
15:50-16:10		CISM資格のご紹介	ISACA東京支部 CISM委員会
16:10-17:10	セッション3	パネルディスカッション 「DX時代の内部不正対策 – 組織を守り、強くする対策とは何か –」	パネリスト ノートルダム清心女子大学 小松 文子 氏 情報処理推進機構(IPA) 佐川 陽一 氏
		質疑応答(10分)	
17:10-17:15	閉会	閉会挨拶/アンケート・CPE説明	ISACA東京支部 CISM委員会

13:35-14:35 セッション1

クラウドセキュリティの基本: ベストプラクティスとポイント

日本クラウドセキュリティアライアンス理事
Cloud Security Alliance リサーチフェロー
合同会社鵜パートナーズ代表
諸角 昌宏 氏

概要

クラウドセキュリティを考える際の基本である「責任共有モデル」は、クラウド利用者が実施するセキュリティとクラウドサービスのセキュリティを評価することが必要です。

本講演では、クラウドセキュリティの基本である責任共有モデルについてあらためて理解し、効率的・効果的にクラウドセキュリティに取り組んでいく方法について説明するとともに、クラウドサービスのセキュリティ評価において非常に有効であるツールとしてCSAが提供しているCCM(Cloud Controls Matrix)、CAIQ(Consensus Assessments Initiative Questionnaire)、また、それらを使って展開しているSTAR(Security, Trust Assurance and Risk)について説明します。

また、監査者がクラウドセキュリティの監査を行っていく上で身に着けておく知識としてCCAK(Certificate of Cloud Auditing Knowledge)資格について説明します。



講師略歴

OSやデータベースの開発からセキュリティ製品のテクニカルサポートを経て、現在のセキュリティ・コンサルティングに関わる。クラウドセキュリティの分野では、Cloud Security Alliance日本支部(CSAジャパン)の設立(2010年)当初から参画し、クラウドセキュリティに関する様々な情報発信、ワーキンググループ活動を実施。また、CSAリサーチフェローとして、CSAグローバルの研究活動からCSAジャパンの研究活動を行っている。クラウドセキュリティの認定資格である、CCSK(Certificate of Cloud Security Knowledge)、CCSP(Certified Cloud Security Professional)、CCAK(Certificate of Cloud Auditing Knowledge)を取得し、クラウドセキュリティに関する幅広い知識を有している。

14:40-15:40 セッション2

今知っておくべきサイバーセキュリティの脅威実態 ～ランサムウェアとランサムウェア以外の話～

株式会社マクニカ セキュリティ研究センター
センター長補佐
瀬治山 豊 氏

概要

講演者自身が月間数百本の脅威分析レポートやインシデント事例等の公開情報、及び、独自調査、リサーチコミュニティ、自社CSIRT活動等の様々なチャネルより収集した膨大な情報からエッセンスを抽出し、セキュリティ担当者がいま押さえておくべき攻撃者側の手法変化と対策について情報をまとめます。

予定のトピックは、引き続き警戒を行うべきランサムウェア関連については攻撃者側の手法変化と日本企業のランサム被害傾向を、ランサム以外では国家背景の標的型攻撃の恐るべき手法、脆弱性対処のトレンド変化、警戒すべき認証情報の悪用など、話題を複数回切り替えながら情報をお届けします。

今回は限られた分野を深掘りする形式ではなく、バラエティに富んだ内容を時間と体力の許す限り高速でご紹介いたします。



講師略歴

株式会社マクニカ セキュリティ研究センターに所属。脆弱性の影響範囲や日本企業を狙うランサムウェア関連の脅威動向をリサーチし、SNS(@nekono_naha)、カンファレンス、セミナー、自社ブログ等でセキュリティリサーチャとして情報発信を行っている。また、マクニカグループにおけるCSIRT担当者としても活動し、グローバルでのインシデント予防と対処に従事。

(ISC)² Japan Chapter Annual Conference 2022
JSAC 2023(Best Speaker賞受賞)
セキュリティ・キャンプ2023全国大会講師
JSAC 2024 等

16:10-17:10 セッション3 – パネルディスカッション

DX時代の内部不正対策 – 組織を守り、強くする対策とは何か –

概要

内部不正によるセキュリティ侵害は、依然として組織における脅威であり大きな経営課題です。特にデジタルトランスフォーメーション(DX)によるビジネス環境の変化により、その対策も変化しています。本パネルディスカッションでは、近年の内部不正の特徴と、いま組織が取り組むべきポイントなどに触れながら、組織のビジネスに貢献する内部不正対策を実施するためのアプローチを模索します。

パネリスト



ノートルダム清心女子大学
特別招聘教授 小松 文子 氏

NECにてネットワーク管理、セキュリティ製品・サービスの研究開発に従事後、IPA情報セキュリティ分析ラボラトリーラボラトリー長、長崎県立大学教授・副学長をを経て現職。公的機関では、経済産業省産業構造審議会 知的財産分科会不正競争防止小委員会、NISC 重要インフラ専門調査会、研究開発戦略専門調査会などで委員を務める。博士(情報学)



独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
セキュリティセンター
セキュリティ対策推進部 セキュリティ分析グループ
主任研究員 佐川 陽一 氏

住友電気工業株式会社研究開発本部サイバーセキュリティ研究開発室に所属する傍ら、情報処理推進機構の研究員として2015年から現在まで一貫して営業秘密管理や内部不正防止に関する実態や対策の調査、情報発信の業務に従事。

資料

配布可能な講演資料は、ISACA東京支部ホームページ上で公開しています。

<https://www.isaca.gr.jp/cism/cismconf2024.html>

お知らせ

- セミナー講師、講演タイトル、内容等は、都合により変更させていただく場合がございます、ご了承ください。
- お申込みに際してお伺いしたお名前・メールアドレス等の個人情報は、本カンファレンスの中止や延期の連絡、次回の開催案内に使用させていただくことがあります。

CPE証明

CPE証明については、セミナーの中でご案内します。
セミナー時間合計205分に対するCPE(ISACA継続教育4CPE相当)の証明書を発行します。

お問い合わせ

cism-conf@isaca.gr.jp (ISACA東京支部CISMカンファレンス担当)